中城村　見つめよう　わたしたち　みんなのぎかい

# 議会だより

題字：與那覇 朝徳 議員

世界遺産 中城城跡 二の郭

## 目　次


■ 議会開催日程　2
■ 12月一般質問　3
■ ３月一般質問　8
■ 県 外 研 修　16


第５号
12月・3月議会

〒901-2493 沖縄県中城村字当間176番地　TEL895－4318　FAX895－4358　発行／中城村議会　編集／編集特別委員会　印刷／沖印社

**平成13年11月26日（月）第6回中城村議会臨時会開催。**
**議　案　（第48号）一般会計補正予算他4件を審議。**

**平成13年12月14日（金）から20日迄7日間第7回中城村議会定例会開催。**
**議　案　（第53号）一般会計補正予算他11議案、発議3件と諮問1件を審議。**

**平成14年2月22日（金）第1回中城村議会臨時会開催。**
**議　案　（第1号）中城村職員給与に関する条例の1部を改正する条例他8議案審議。**

**平成14年3月11日（月）から29日迄19日間第2回中城村議会定例会開催。**
**議　案　14年度一般会計予算他35議案、推薦1件 選挙1件 発議3件審議。**

## 教育委員会委員の承認

住　所
中城村字屋宜862-2番地
氏　名
前　原　啓　子
生年月日
昭和17年11月15日生

住　所
中城村字新垣1357-6番地
氏　名
山　城　勝　雄
生年月日
昭和24年1月29日生

## 一般質問　平成十三年十二月定例議会

### 市町村合併

新　垣　徳　行　議員

**新垣議員**　地方分権に伴い事務の合理化、並びに財政基盤を強化し、多様化する住民サービスの向上を図る為にも合併問題は重要であると思います。村長の所見を伺います。

**村長**　市町村合併についての基本的な認識は重要な課題であると受けとめている。住民自治の立場から十分な検討期間と慎重な手順を踏んでいく考えであります。

**新垣議員**　現時点で隣市町村の首長と合併について話し合いは行っているかどうか。

**村長**　中城、北中城、宜野湾市も含めて合併は避けて通れないと、見解は同じだが、今テーブルに着く段階に至っていない。

**新垣議員**　合併特例法の交付税措置等がある内に取り組まなければと思うがどうか。

**村長**　二〇〇五年の合併措置法というまでに、なんらかのアクションを、おこさなくてはと思うが、慎重に隣市町村と地ならしをしていく考えである。

### 行財政改革

**新垣議員**　庁内行財政検討委員会を設置し、一年以上も論議されたが改革の方向性は、十四年度の行政運営にどう反映されるのか。

**村長**　行政の運営目標と運営システムの効率性の一層の向上を目指す。速やかに実施する事項は平成十四年度に実施し、継続検討事項も可能な限り時期を早めるよう取り組んでいきたい。

**新垣議員**　行財政改革は今後どう改革しどの部分を改革していくのか。

**村長**　同じ種類の業務はできるだけまとめる、事務事業の簡素化、施設管理等の集約化、地方分権に伴い職員の研修を強化、定数については現定数内にし、組織や文書事務の統廃合、事務事業の見直しは細かい点がいくつもあげらている。

**新垣議員**　財政改革について本村の公債費が十三年度末で二十五億七千万円余りだが、元金にかかる金利が莫大になっている。制度的に安い金利に借り換えする制度もあるが、借り換えする考えはあるのか。

**企画課長**　借換制度は許可が必要で指示によって借換は行っている。市中金融から借りての返済、借換というのも検討はできると思う。まだ実務的に具体的な検討はまだ出してないが検討はできると思っています。

## 当間地区土地改良農道舗装

伊佐吉元　議員

**伊佐議員**　一般車輌、工事用車輌の利用が多くなり、特に農道一号線（安里ー奥間間）、農道二十四号（当間ー安里間）は凹凸道になり、毎年補修で莫大な維持管理費を費しているが、事業導入出来ないか。

**村長**　基盤整備事業で進められてきた土地改良地内の農道舗装については、予算枠が全国プールで、事業採択は極めて厳しい状況にあると聞いています。

**経済課長**　農林補助金については、非公共事業扱いになっており、特別枠ではなく、全国プール制の採択基準です。採択が厳しい事業、採択がしやすい事業に区別され、道路整備事業等に関して厳しい部分に割り振りされている。地権者同意、地域営農計画等が非常に重要と考えています。

**伊佐議員**　今、県の企業局が進めている水道管施設工事の中に農道舗装の話が理事会にありましたが、課長はどう受け止めるのか。

**経済課長**　当間改良区理事会の主体的事項と受け止め、そのことが果たせるよう担当課としても頑張っていきます。

## 安里の寺敷地整備

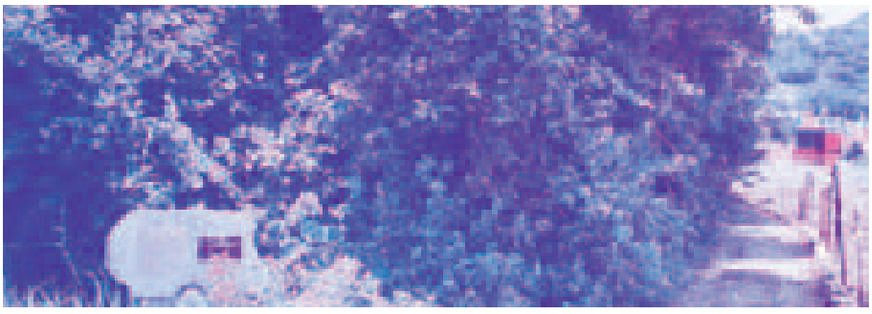
**伊佐議員**　安里の寺は県指定以来、敷地内の整備がなされず、又、二年前は一般質問で県に対する整備要請で質疑したが、その結果は。

**村長**　県教育文化庁に問い合わせたところ、建物、寺そのものの修理が、建て替えの場合は二分の一補助が適用される。建物周辺整備については、現場確認の結果補助が可能か、否か、回答したいとの返事を頂きました。

**伊佐議員**　県の文化課担当者に会い、その話をしたら、要請があれば対応するとのことでしたが。

**生涯学習課長**　要請の段取りはしています。現地調査を早々にするとの回答を得た。

**教育長**　はっきり申し上げまして、対応が遅れたと思っています。早急に要請して行きたいと思っています。



## 村道十号線伊舎堂前浜原改修工事

比嘉明典　議員

**比嘉議員**　過去数年間にわたり、村道十号線の改修工事の必要性を取り上げて参りました。前回の定例会の答弁で村当局は二年前から三年以内を目途に改修計画を検討していきたいとの答弁がございましたが、その後どのように検討されたのか、また平成十四年度の新規事業としての予定があるのか伺います。

**村長**　以前から久場、伊舎堂、添石の集落内を流れる河川改修については問題としておりました。補助メニューが見つからない状況から添石と同じように起債率、充当率百％の排水路整備事業で、平成十五年度を目途に整備していけるよう検討しているところであります。

## 青葉苑新築工事

**比嘉議員**　青葉苑の新築工事については地域住民の同意も得ることなく工事が進められております。新築工事がどこまで進んでいるのか、その進捗状況は。

**村長**　平成十三年十二月現在で全体の二九・三％、約三十％の進捗率でございます。

**比嘉議員**　擁壁工事、本体工事も着手しておりますが管理者は地域住民の同意を得られると思っておりましたか。

**村長**　同意が得られるということの認識は委員と私の差があると思います。私は同意を得るべくここまで地道に努力をいたしてきました。

**比嘉議員**　構造物が建つということは登記簿抄本、税制も変わってきます。地権者に説明すべきと思うが。

**村長**　税金については改めて説明をして理解を得たいと思っています。

**比嘉議員**　進入路の変更はないか。

**村長**　進入路はこれまで二十二年間も使用してきた既設の進入路と考えておる。

**比嘉議員**　都市計画法に基づく事務手続きの不備はないか。

**村長**　県は二十二年前にどういうふうにして、青葉苑の建設許可をしたのかということも含めて、県とこれから交渉をし、指摘の事務手続きを進めていきたい。

**比嘉議員**　青葉苑の新築事業に関する政府及び関係機関に対する折衝の一切の委任についてどのような内容だったのか。

**村長**　国会や政府情報など、事業情報の収集とその提供が主な内容である。

その他、パソコンの維持管理についての質問もありました。

## ゴミの減量化

安里徳昌議員

**安里議員**　北中城村と話し合いを持った事があるか。

**住民課長**　必要に応じて持っており両村それぞれの分別計画に基づいて減量化をしています。

**安里議員**　ゴミの有料化の計画があるか。

**村長**　今のところ有料化の検討はしていません。

**住民課長**　有料化が必ずしも減量につながるとは考えていません。有料化によって不法投棄や個人個人の生活を脅かす事がないよう慎重にやっていきたい。

### 普天間川の浚渫

**安里議員**　普天間川は県管轄ですが南上原、北上原、新垣、登又と村内を流れていますので、台風と災害時は是非調査する必要があるのでは。

**建設課長**　増水時の氾濫の原因となっていますので、県に対し早めに浚渫するよう要請を行いたい。

### 学校給食

**安里議員**　平成十三年度給食米、その他の物資も補助廃止になったと思いますが現在の運営は。

**給食所長**　小麦粉も廃止、米穀も国からの補助は廃止ですが、そのかわり学校給食会より補助が予算化されています。補助金、助成金は直接給食センターに交付されずその分差し引かれて請求されます。

**安里議員**　一年の給食予算は。

**給食所長**　平成十二年度の決算で七千七四三万五、三一九円です。

**安里議員**　運営委員会の中に学校の給食主任がはいっていません。入れたらどうですか。

**給食所長**　委員は十二名ですが出来るだけ委員の中に加えていけるよう検討させていただきます。

## 防災対策

宮城重夫議員

**宮城議員**　去る九月七、八日の台風十六号の集中豪雨では中城村内でも多大な被害を被ったが、村当局の災害対策、対応、その後の取り組み等について伺いたい。

**村長**　暴風警報発令に伴い、情報収集や非常時に備えて、総務課、建設課が待機体制を取ってきた。総務課は情報収集、住民と電話対応、対策室の設置準備、建設課はパトロールで被害確認、諸被害に対し、対策をした。今後の課題として、運営基準を気象情報に呼応する形で、災害対策本部を立ち上げ、早い段階から協議出来る体制を整えて行きたい。

### 災害対策設置

**宮城議員**　今回の災害で対策室を設置したのはいつか。

**総務課長**　九月十一日の午後四時三十分に設置しております。

**宮城議員**　八日未明から被害が出て、八日の午前中には、各家庭自力で泥土、折れ木等の除去を済ませた状況でした。村の災害対策室は全く機能してなかったと、考えるが。

**総務課長**　八日は職員を動員して、庁舎内、建設課等は地域への対応等、その対策にあたっております。

### 災害の因果関係

**宮城議員**　国道三二九号、吉の浦通りも含め物凄い土石流が流れたが、その原因はどこにあると考えるか。

**村長**　豪雨もさることながら、あの泥土、泥水はゴルフ場開発と直接間接に関係がある。

**宮城議員**　ゴルフ場と災害協定とか、協約等、村として結んでいるか。

**企画課長**　事前協議の中で

やっています。

**宮城議員**　ゴルフ場に関して文章化された協定書等持っているか。

**企画課長**　先日委員が調査に来たときは探しえなかったが、協定書はあります。

## 今後の対策

**宮城議員**　今回の災害で海面汚濁もひどく、又、県の許可条件の中でも、「工事に入る前に予想される水害、土砂の防止策を十分設置を講じてから着工する」との条項等もあるが村として着工前に調整池等の調査をしたか。

**村長**　調整池をつくって、開発行為が災害につながらないようにとの話し合いもしました。

**建設課長**　調整池を予定しています。Aが約四、〇〇〇トン、Bが三、〇〇〇トン、Cが四、〇〇〇トン、Dが二、五〇〇トン。着工中が二ケ所、着工予定が二ケ所です。

# 市町村合併

與那覇　朝　徳　議員

**與那覇議員**　地方分権の受け皿として市町村合併の議論が高まって来た。国においても、市町村合併の推進が図られているが、中城村においてどう対応していく考えなのか。

**村長**　合併問題は避けて通れない重要な課題だと考え、現実味を帯びてきたとの認識であり、合併は住民自治の立場から十分な検討期間と慎重な手順を踏んで推進すべきであると考えています。

**與那覇議員**　行政サービスを向上させるため合併は避けて通れないとの議論もあるが村長は合併以外の選択肢もお考えか。

**村長**　合併問題は避けて通れない重要な課題だと考え、それ以外の選択肢は特に考えていない。

**與那覇議員**　もし合併を推進するのであれば支援措置の活用を図る必要があると考えるが支援措置は平成十七年三月に期限がきれるがタイムリミットはすぐそこまで来ている。現在の取り組み状況とこれからのスケジュールは。

**村長**　目下のところ関係課長が勉強会という程度で取り組んでいる状況である。二〇〇五年という時限立法、それまでには、関係市町村との事前協議なり、或いは村民対象のアンケート調査をするなり何らかのアクションを起こしていきたい。

**與那覇議員**　地方分権は自己決定、自己責任が求められている。地方分権実現の手段に位置付けられた市町村合併は、住民意志の反映が重要だと考えますが。

**村長**　行政側からは、啓発活動だとか、広報活動は大変重要だと思うが住民意志を尊重する姿勢は維持しながら進めていきたい。

**與那覇議員**　時限立法の期限は後三年三ヶ月しかないが、そこまで相当スピーディーに対応していかなくてはならないと思うが。

**村長**　私は二〇〇五年に余りこだわりすぎてはいけないと言う意味である。国も市町村合併は推進しているので、特例措置の再延長はあると考えている。

**與那覇議員**　合併特例法の延長はないものと想定して事を進めるべきではないか。

**村長**　住民意志を尊重する最大の前提がある。中城村民の意志が最も大事であるという事を踏まえての話である。

# 第3投票所周辺の整備

喜舎場　健　司　議員

**喜舎場議員**　平成十一年三月定例会において質問致しましたが、村長は現場調査の上、検討したいと答弁したがその結果は？

**村長**　今、どの範囲で整備をしたらいいのか総務課、建設課と協議中で、できれば自治会から具体的にどこどこという要請があれば協議しやすいが。

**喜舎場議員**　投票所として使われている公民館の周辺整備、特に駐車場の整備は村としても最大限配慮すべきである。

## 県道三五号線の新垣集落地内の横断歩道及び一般歩道の整備

**喜舎場議員**　子供たちや区民の安全性を考えた場合村は県に対し強力に要請すべきだが。

**建設課長**　防護策設置については県土木事務所に要請を行ったが幅員が狭く、また用地の確保も必要なので地権者の協力が必要といっている。

**喜舎場議員**　費用の問題ではない、とにかく歩道がないということはとても危険です。しかもカーブもあるし、たびたび事故も起きている。区民も用地確保には協力する意志は十分である。又三五号線と二九号線の交わる三叉路の道路設計がおかしいが。

**建設課長**　主線が那覇に向っている二九号線になっているためあのような設計になっている。

**喜舎場議員**　この交差点は誰が見ても合理的ではない。強く要請してもらいたい。歩道の問題は危険性からみて早く改良工事を進めてほしいので強く働きかけてもらいたい。説明会を持てば協力は得られる思う。

**建設課長**　県に強力に要請していきます。用地買収がポイントですので文書で地権者の同意が取れれば村としてうまくいくと思う。

## 地域の振興策

**喜舎場議員**　新垣中央線周辺から台地部にかけて、農振地域を見直して、農業以外の事業を導入してもらいたい。

**経済課長**　現状と致しましては農業振興地域であり、補助事業も導入しているので当分の間振興策の方向性で進めていきたい。

# 国保税の収納率低下

新垣善功議員

**新垣議員**　平成十一年度が九四・二％。平成十二年度九一・六三％ということで、国保税の微収率が国の定める基準以下に終わり国からの補助金カットになることは明らかで、その責任についてどのように考えているのか。

**村長**　収納率の低下した要因につきましては、社会経済の状況等も考えられますが、収納特例への全庁体制が取れなかったことも一因ではなかったかと、私の立場から反省をしております。

## 行財政改革

**新垣議員**　内部の行財政検討委員会において論議がなされ、いろいろな意見が出たようでありますが、今後どのように行財政改革を実施しようと考えているのか。

**村長**　平成十四年度の行財政運営に出来るだけ反映させるように、事務事業や組織機構の見直し等も含めて、詰めの調整をしているところであります。

**新垣議員**　行財政改革で一番大事なのは職員の意識改革と資質向上をどうしていくかです。村長は職員の資質向上についてどういう方策を考えているのか。

**村長**　職員が職務内容をしっかりつかんでいるか。技術、方法を身につけているか。自ら進んでやろうとする職務に対する意欲があるかということが、職員が職務を効率的にやっていく大事な点だと思います。講習、研修等も重視して、方法、技術の面でも向上させていきたい。

## 農業振興と特産品

**新垣議員**　基幹作物であるキビ作から、付加価値の高い農産物の生産に移行して、生産のみでなく、加工、販売も考えて特産品につなげていくべきと思うが。

**経済課長**　基盤整備された農地を生かして、大型化、集約化、機械化その中でなおかつキビ畑を無駄に使わないために、間作体系も工夫しながら、一戸一戸の農家の手取り額の向上に努めていきたい。また加工については、島人参イコール特産品という域がまだでてない部分もあり、今後、商工会、ＪＡ、すでに事業化をしている方も含めて、その面の道筋をつけていきたい。

# 自主財源の確保と火力発電所の誘致

知念政光議員

**知念議員**　一点目に土地改良区を除いて、すべての地域を市街地区域にする考えはないか、二点目に、火力発電所の誘致問題をどう考えているか。

**村長**　自主財源の確保は歴代の村政に課された最も大きな課題であると考え、低公害の企業誘致は大きな関心をもっている、本村の財政基盤の安定化から積極的かつ精力的に取り組んでいきたい。市街化区域への変更は、徐々に行っていきたい。

**知念議員**　行政報告の中で十一月九日（金）沖縄電力の當眞副社長が来庁し情報

交換をしたとあるがその状況を聞きたい。

**村長**　ポスト石川発電所ということで次にどこに建設するかということでした、その中で中城村が有力候補の一つであることを告げられた。

**知念議員**　平成十三年の三月定例議会から誘致に向けた強力な推進をすべきと申し上げたにもかかわらず、今十二月定例議会でも動きが鈍いというのは消極的な対応ではないか。私と沖縄電力の職員達との情報交換では、村当局には熱意がないのではないかとの話をしていました。どこの市町村でものどから手が出る程、誘致したい企業であるにもかかわらず、積極性がない、議員の皆さんもそして村長ももう少し情熱を持って対応していただきたい。

**村長**　誘致促進決議の時期については社内の問題もあり今日まできておりまして次回定例会においてお願いしたいと考えている。

**知念議員**　村長も忙しい中、役職員一丸となって取り組んでいただきたい。

## 河川整備

**知念議員**　次に奥間一五七番地周辺の恒常的床上浸水問題についてですが村当局はどのように対処されるか。

**村長**　大城氏住宅の移転問題も解決し、りっぱに改修したが、この度の豪雨での床上浸水にショックを受けており真剣に検討していきたい。

**建設課長**　浜の十字路の橋の改修を平成十四年度で検討していきたい。



## 墓地建設

安里　ヨシ子　議員

**安里議員**　墓地建設について　村民が自分の土地に墓をつくるのにどんなに難渋しているかご存じですか。

**村長**　墓地が集積されている付近は比較的容易であるが畑の真中に造る場合とか難渋する箇所もあり得る。

**助役**　墓地埋葬法の範囲でしか許可できません。

**安里議員**　まともに申請をし、まともに手続をした村民に対し親身になって相談にのるのが村政では。

**村長**　違法な建築で墓が立ち並ぶ中で善良な村民が目的を達せられないことについて、住民課、県、保健所とも相談、問題の解決に力を注いでいきたい。

## 青葉苑

**安里議員**　ゴミ処理場建設について、解体費と維持管理は。

**村長**　解体費、三億二千四百万円、維持管理費、三億五千九百万円、造成費、一億二千六百万円、解体費と造成費の入札予定価格は、工事全体が一括性能発注で特にそれだけの入札予定価格はありません。

**安里議員**　住民の合意は。

**村長**　私は、ダイオキシン問題が鍵だと考えております。平成八年八七ナノグラムのダイオキシンが排出され村民に不安を与えた。ダイオキシン規制基準値に適合する施設の改築については村民の合意は得られたと思う。

**安里議員**　最終処分場について。

**村長**　最終処分場についても当然キャンプ瑞慶覧のゴミの残さもある訳で、関係当局に強く折衝していきたい。場所についてはこれから、建設費は十億円単位と聞いてます。

## 焼却場青葉苑敷地選定

比嘉　善栄　議員

**比嘉議員**　現在社会状勢が変遷し、地域住民の考へ方も変化するなかで新垣村長はどのように取り組みされたか。

**村長**　私は、大きな変化の一つは、なんと言ってもダイオキシンの問題とゴミの資源化ということであろうと思います。その対応として焼却の仕方とか残渣の処理の問題、リサイクルプラザ等その対策を考へて進めてきております、また住民生活課を中心にゴミの五種分別等も実施して、資源化、

減量化に努めて参りました。

**比嘉議員**　景観条例との関りについて景観条例バッファゾーン条例に特に拘束されないと言われましたが、どのような観点から言われておりますか。

**村長**　景観条例に特に拘束されないという、これはご承知のように既存施設の改築であり、条例は上位法を越えて拘束するものではないことはご承知のとおりであります。その立場から申し上げた次第です。

**比嘉議員**　都市計画法、建築基準法についてはどの様に考えて居られるか。

**村長**　都市計画法や建築基準法についてということのお尋ねでありますが、ゴミ焼却場建設工事については都計法および建築基準法をクリアして施行していると認識をいたしております。

**比嘉議員**　地域住民の考へ方も変化するなかで、私が言いますのは、この現在、殆ど何もかもクリアして建設をされてるという感を受けます。村長は地域住民とか世論を得て、施工してもいいという感触を受けて、現在執行をされているか。

**村長**　ゴミ焼却場青葉苑の改築工事につきましては、都市計画法、建築基準法をクリアし執行、施工している訳でございます。クリアしているものとして、それを遵守して進めております。

# 一般質問

## 平成十四年三月定例議会

安里徳昌議員

## 発電所視察

**安里議員**　九州電力新大分電力と中国電力の柳井発電所の視察について、当村も是非この事業を成功させ、財政も厳しいけど目標達成に進めていきたいと思うが村長の構想は。

**村長**　財政基盤の確立と二十一世紀の本村の活性化を図る上で、発電所誘致を実現しなければとの基本姿勢を堅持し強い決意を持って村民のご理解を得たいと考えている。

## 学校週休二日制

**安里議員**　四月一日より実施する週休二日制度は、ゆとりある環境で様々な体験をすることになるが、又、健全な心の発達を促そうとするものだと思うが、どう考えていますか。

**教育長**　前回の週休隔二日制の場合、思ったほど困難はなかったような記憶があり今回もそれなりの対応はされており、子供達が休みの日を有意義に過ごせるような様々な活動や体験の場や機会の整備に努力する。週末の学校や施設の解放の促進、子供達の活動機会について情報提供し、参加しやすい広報活動も展開したい。

## 介護保険

**安里議員**　平成十二年四月から実施された、介護保険は今後大変厳しい状況になると思うが、今後の見通しについて伺いたい。

**健康福祉課長**　介護保険の当所見込額の、保険料四千円では到底まかないきれないと言うものがあって、国の指導を受け保険料の策定をした。介護保険を利用する料の増、対象者の増等により当初の保険料では賄いきれない状況であるから、補正予算で県の基金より三千六百万円借入して賄う現状になっている。

## 歴史の道

**安里議員**　歴史環境の保全と活用について伺いたい。

**村長**　歴史の道については、内閣府と文化庁の補助を受け、世界遺産周辺整備事業として平成十四年度から着手する。

## 道路交通網の整備

**安里議員**　村道の不備の面は調査して早めに整備してもらいたいが。

**建設課長**　村道維持管理については、随時調査して補修箇所をまとめて、年四～五回ほど補修を行っている。

## 共同調理場の移転

**安里議員**　平成十二年九月に一般質問したが今後の計画は。

**村長**　当初平成十四年度を目途に検討していたが、公共下水道の供用開始との関連で、二、三年遅らせることで教育委員会と調整している。他に放置車両の件と、集排水路の件についても質問がありました。

## 学校週五日制

伊　佐　吉　元　議員

**伊佐議員**　四月から公立の小中高で週五日制がスタートするが教育内容の削減による学力低下が懸念される。取組みはどうですか。

**教育長**　ご指摘のように二つの理由から三割も削減されました。一点目週五日制の導入。二点目総合的学習の導入。確かに学力を知識の量で捉えますと低下の要因になるが学力をもっと幅広く総体的に考える必要がある。指導要領はゆとりの中で一人ひとりの子供たちに生きる力を育成することを基本的ねらいに改訂された。

**教育主幹**　これからの教育は繰り返して学習するなどの基礎基本をしっかり身に付けることに重点が置かれる。又、平成十四年度からはチーム・ティーチングとして一つの学校に教師二人が配置されるので学力の低下はないと思う。

**伊佐議員**　子供達の受入施設はどうなっているか。

**教育主幹**　土日曜は家庭に帰すというのが基本である。従って家庭内の対応が重要であり又、地域全体の受け入れ体制をつくるのが大切です。

**伊佐議員**　私立は従来どうりの隔週休制ということだが公立と学力の差がでないか。

**教育主幹**　新教育は知識を教え込むのではなく自ら学び、自ら考える力を育てるという方向転換である。基礎基本を徹底してやれば差はでないと思う。

### 教職員の全面禁煙

**伊佐議員**　県教育庁は四月から学校現場における教員の禁煙及び飲酒の禁止を指導することになっているがどうするか。

**教育長**　教育庁からの通達はまだ届いてないがいずれこの問題は学校内においてどう喫煙場所を確保するか又、喫煙者がすぐ止めることができるか難かしい点もある。

### 土地改良区内の資材置場

**伊佐議員**　転用違反だがどうですか。

**農業委員会事務局長**　何度も現状回復の勧告をしているが聞かない、引き続き指導したい。

## 公共下水道事業

新　垣　徳　行　議員

**新垣議員**　事業の促進を図る為に、住民への十分な事業説明をすべきと思うが、又、接続費用が十五万円から三十万円と住民負担が大きいので、一時貸付金制度が必要と思うが。

**村長**　公共下水道事業の普及促進を図る為説明会は必要です。工事費の一部貸付制度については加入状況を見ながら対策を講じる。

**新垣議員**　私は中城住民に対し、どう理解を求めて普及率を高めて行くか、村長の施政を伺っているが。

**村長**　部落自体の動きが非常に大事なことですので、多くの人に公民館に集まってもらい共通理解を図って行きたい。

### 利用料金

**新垣議員**　料金表は出来ているか。

**都市計画課長**　料金につきましては去る十二月定例議会で下水道条例の議決を得ています。料金も用途ごと、使用ごと条例で謳っています。

**新垣議員**　下水道使用料金はどのような精算方法にするか伺いたい。

**都市計画課長**　上水道の使用料金に対する下水道料金の設定で、基本は上水道の使用量を元にして料金設定しています。

**新垣議員**　三十五パーセントで間違いありませんか。

**都市計画課長**　三十パーセントから三十五パーセント以内、平均で三十三パーセントぐらいになります。

### 道路交通網整備

**新垣議員**　国道三二九号線と県道二九号線の東西連絡道南側計画については、村道ウフクビリ線の完了後に事業化を検討するとの事でしたが、現時点でどう検討されているか。

**村長**　国道三二九号と県道二九号線を結ぶ和宇慶南上原線について、県道三二号線を延伸させる案で二月に県と中部市町村との行政連絡会に対する要望事項を二点まとめて上げなさいと県からの要請でその一点として掲げております。

### 国道との連結部所

**新垣議員**　県道三二号線から持って来たら国道三二九号のどこに連結するか。

**建設課長**　国道三二九号との連結部所は和宇慶辺りを考えています。

**新垣議員**　県道に格上げされた事業を取り入れて、連絡道を作る考えなのか。

**建設課長**　南上原中央線が将来的に県道格上げで琉大方面に行きますので、そこで和宇慶辺りとつなぐ計画です。

## LNG火力発電所の誘致

井口康市議員

**井口議員**　中城村の火力発電所建設の場所として情報がよせられたのはいつ頃か。

**村長**　平成十三年、去年の一月二十四日に沖縄電力の取締役のお一人が、五市町村があがっており、中城村も含めてよいかという打診があったのが最初の情報で去年の二月二十日、約一ヶ月後になりますが新聞報道によってこれが確かなものになりました。

**井口議員**　沖縄電力から具体的にどういう話が出されたか。

**村長**　電力側のお話によりますと、電力の需要量の約九割は中、南部で消費されている。あとの十パーセントが北部であると。

**井口議員**　中城村が発電所建設の候補地にあげられている最大の理由は何か。

**村長**　消費地に近い、中、南部のいい場所にあるということを申しておりました。

**井口議員**　沖縄電力がターゲットにしている場所は日本石油会社の跡地だと思われますが石油会社との跡地買収の見通しはついているか。

**村長**　いわゆる立地場所の日石三菱との関係は沖縄電力が対応すべきものとして、特に村として直ちにアクションを起こすタイミングではないということがありましたので、これは電力側が対応するものだというふうに今私は認識をいたしております。

### 保育所改築

**井口議員**　現在公立の保育園が三ケ所あります。いずれも築約二十五年以上経過し老朽化が進みコンクリートも劣化し、天井落下という危険な状況になっている。改築計画はあるか。

**村長**　目下進めております行政検討委員会でも議論の的の一つです。改築計画を早めていく方針を固めております。

### 児童館設置

**井口議員**　児童館の設立について、子供の夢を広げる児童館の設立が急がれている。今どこの地域にもある児童館が本村だけにはない、村長の選挙公約でもあり、是非実現してほしいと思いますが。

**村長**　目下緊急性、優先性など検討している課題が幾つかありますが、児童館もその一つとして子供たちの夢を育む上で必要な施設であるとの認識を強くしておりますが、今のところ位置づけはしておりません。重要な施設である認識はいたしております。

## 津覇小学校南上原分校の移転

眞栄城安宗議員

**眞栄城議員**　区画整理との兼ね合いで分校としての存在は不可欠でありますが、移転について。

**村長**　南上原分校のよって立つルーツを聞きながら、寺子屋時代からの古い歴史を持っていることを知り、改めて南上原分校の位置について考えさせられました

**眞栄城議員**　南上原の区画整理事業は、村長の施政方針の中でも三大拠点の一つにあげた学園都市形成の中に事業の目玉として、学校として存続の目玉ですが

**教育長**　平成十二年十二月十四日南上原分校移転実施計画の策定の要請を受けて、都市計画課、教育委員会の事務方で話し合いを過去何度か持っております。

**眞栄城議員**　平成十六年には校舎を建てるということでございますが、事業をやるときに学校用地として南上原に公用地、あるいは幼稚園、小学校と土地があるのですが、そこへお建てになるんですか。

**村長**　あらかじめ計画をされている学校用地に建てる計画です。

**教育長**　村の最高責任者の発言が今ございましたので、その通り私達も進めていきたいといふうに思っております。

### 旗立岩の活用

**眞栄城議員**　新垣グスクのペリー旗立て岩の保全と活用について、昨年は一部清掃して、村の旗も立っていましたが、去った台風十六号で旗も吹っ飛び、また元の荒放題の岩に戻りつつありますが。

**生涯学習課長**　平成十四年度におきましても同じよう

に文化財清掃の予算を獲得しておりますので、継続して清掃が出来るように検討していきたと思っております。

**眞栄城議員**　保存と活用について　今から基本構想を練るということでございますがせめて岩から公園まで遊歩道としてあるいはサイクリングロードでも結構ですが、公園につなぐ本当に昔でいうワチ道ですね。出来ないか。

**村長**　現時点では文化庁が七年、内閣府が三年を目途にということで整備を進めるということになっております。

## 南上原区画整理事業の促進

比　嘉　盛　安　議員

**比嘉議員**　平成十四年度の施政方針の中で核となる三大事業の促進ということで、平成十六年までの事業計画との絡みと、重要課題である保留地の処分について。

**村長**　平成十六年までという工事完了の工期を示しているにも関わらず、そこまで完了する見通しが今立っておりません。事業計画の変更もやむ得ない状況にあります。中でも保留地処分が最大の課題でありまして、バブル期の単価で果たして押し通していけるか。そこまで含めて再検討せざるを得ないのではないか

**都市計画課長**　事業費についても一六八億二、七〇〇万円ということでやっておりますけれども、総事業費に対する進捗三二パーセント、補助基本額に対する進捗で六八パーセントということになっております。それで今回変更認可ですね、事業変更認可、予算に組んでおりまして、平成十四年度に県と協議しまして、この変更計画の作成をやりまして、平成十五年度に承認を入れるという予定であります、施行期間が二十年度まで。

**比嘉議員**　懸案の久場真尻原一帯の冠水、浸水問題を解決すべく南部国道事務所や県企業局との協議の上、工事を実施することになりましたと、そこまで至までの経過と工事の内容について。

**建設課長**　久場の排水路問題につきましては度々議会でも取り上げられた問題、経費負担の問題ですね、国道ジキの負担は出来ないか企業局の配水管移設はかなり難しい問題、国道ジキを離れた分については村の負担ということで、県のほうに確認いたしましたところ、その案で了解が取れるということであればという合意にこぎ着けたわけでございます。

## 沖縄電力誘致

**比嘉議員**　沖縄電力誘致について電源三法による交付税支給や地域産業の振興と財政面や雇用機会の創出に大きな波及効果が期待できる。また専従の職員を配置して強力に推進していくと述べておりますが。

**村長**　二十一世紀の村興しの鍵になると認識をいたしております。

## 利便と快適の住み良い村づくり

## 財政確立と火力発電所

比　嘉　善　栄　議員

**比嘉議員**　平成十四年度の施政方針の中の主要施策に記載されている財政難克服について詳しくお聞きしたい又、生産と喜びのある村づくりの中で沖縄電力（株）の発電所誘致の意志表明がありますが村長の考えはどうか、又財政の確立のため、そして善意ある方々のためにも不退転の決意でことにあたらなければならないと表明されています。それについてもお聞かせ願いたい。

**村長**　電源開発という面で自信がなさそうというお話がありますが、これはあくまでもまだ決定しておりませんので慎重を期した発言であり表現の方法である、比嘉盛安議員につづいて今度は比嘉議員さんもそういう姿勢をお持ちであるので大変ありがたく思っております。地元住民の説得にも不退転の姿勢でことに当たっていきたいと思っております。

**比嘉議員**　推進対策室を設置するといわれているがいつ頃なされるか、人要はどうか、又誘致場所も現三菱石油の跡になるのか、施設規模について事前に説明があったのか。

**村長**　担当窓口としては企画課に置く、誘致問題は今年の前半が正念場と思っているので競争相手に負けないよう一丸となって当たりたい。場所についてはやはり議員と一致します。また規模については二十四万KW×二基ということです。

**比嘉議員**、固定資産税はどのくらいあると思いますか。現在の三菱石油の固定資産税はいくらですか。

**村長**　色々類似発電所の場合を考えた場合少なくとも五億円以上になるのではないかと考えています。　又三菱石油は現在二千九百三十万一千八百円です。

**比嘉議員**　地域住民への説

明は。

**村長**　視察する構成メンバーの数とかは執行部が決めるのではなく、地域の皆さんと相談の上やっていきたい。わたしは今議会で、五名の議員から誘致の質問があり中城村の二十一世紀を活性化させるため必要であるとのご意見に意を強くしています。

## 昼食時間の窓口業務の開設

新　垣　健　二　議員

**新垣議員**　以前の定例会でも二度に渡って質問をしました。昼食時間における役場の窓口の開設でありますがなかなか実現にふみ切れないと、何がネックになっているのか具体的にご説明をお願いしたい。

**村長**　村民に対するサービスの向上、利便性に努めるという上から、昼食時間の窓口業務の開設について異論を唱える人はいないと考えます。対費用効果という意味でも意見の分かれ目だったと認識しております。しかしながらやはり役場というものの機能を十分に果たし住民サービスを向上させるために平成十四年度中に実施すべく、今、関係課で調整に入ったところでございます。

### 公共下水道

**新垣議員**　接続率の見通しはどのように、予測されているのか。

**都市計画課長**　加入予定が平成十四年度で百五十六件ということで、接続可能件数の約二十六パーセントを見ております。

**新垣議員**　接続率を上げなければ使用料も入ってこない。汚水処理の経費と使用料の収入のバランスが取れなければ、どうしても不足分は一般会計から補っていくという形になり、村の財政を圧迫していくことにならないか、村民に接続を促進するために、接続費用の貸付制度を取り入れて、いくべきだと思うが。

**村長**　説明会の場でどういうふうに質疑が交わされるのか、その中で貸付制度があればいいがという質問もあるだろうし、二、三カ所説明会を開けば、ある程度の実態はつかめるというふうに考えており、今の提言のような形も選択肢の一つとして部落の説明会にはのぞんでいきたい。

### 土地改良区にある犬の飼育場

**新垣議員**　以前の定例会で質問をした、飼育場の問題はその後どのような対策がなされたか。

**農業委員会事務局長**　この件に関しましては再三にわたり地元の委員の皆さん、事務局も一緒になって地権者への勧告も行っております。移動、撤去するように再三申し上げておりますが、現在のようになっておりますが。再度その面は今後勧告文書なり、適当な措置を取りたい。

## 青葉苑の新築工事

比　嘉　明　典　議員

**比嘉議員**　敷地面積の変更等で都市計画決定に違反しています。変更手続が必要では。

**村長**　都市計画の変更か道路認定を含め苦しい選択を迫られている。近々結論を出すべく検討を進めています。

**比嘉議員**　青葉苑の工事に伴って政府及び関係機関に対する一切を委任された高井氏の略歴について伺いたい。

**村長**　個人保護の立場から公表は控えさせていただき

ます。

**比嘉議員**　今後地域住民との合意形成についての協議は。

**村長**　歩み寄れる余地があるなら誠意を尽して可能な限りできるだけの力を出し頑張っていきたい。

**比嘉議員**　工事契約五八億八千万円の工事仕様書、補助金申請概要書の資料の提出を。

**村長**　現在裁判継続中ですのでよく検討し、時期をみて答えさせていただきます。

## エココースト事業

**比嘉議員**　平成十四年度施政方針でビーチの表現がない。人工ビーチは中止になったのか。

**村長**　下水道の全村開始、汚水等が海岸に流れこまないよう排水工事を今、進めている。そうすれば、自然に海水の浄化が図られその時ビーチの機能を果たす。

**比嘉議員**　海岸開発と湾岸道路についてこれまでどのような要請活動を行ってきたか。

**村長**　村独自、中部市町村会や南部国道事務所、県総合事務局などに要請を行ってきた。

## 世界遺産の活性化

**比嘉議員**　世界遺産を核とした活性化推進協議会はどうなっているか。

**村長**　下から積み上げていく方法、北中城も組踊りを作っている、そういうものを集大成して活性協の構成メンバーに加えてスタートしたい。

# 2002年度施政方針

宮　城　重　夫　議員

**宮城議員**　二〇〇二年度に於ける最重要施策は何か。

**村長**　予算額から見たところの重要施策等と、いろんな観点からあると思うが、私は継続事業の中でやはり昨日、今日と質問が相い次いだ南上土地区画整理事業の進捗と、保留地処分、又、ゴミ処理施設が地域の理解の元に、十五年稼動に向けても非常に大きく、心や頭の中で位置づいている。

**宮城議員**　十四年度からスタートする、第三次基本構想、基本計画で三つの目標「人がとよむ」、「環境がとよむ」、「営みがとよむ」を三本柱に上げているが、十四年度の施策はそれらの元に進めて行くのか伺いたい。

**村長**　文章の中にそのことが読み取れないことに対し、大変適切な指導を頂いたと思う。平成十四年度から始まる向こう十年間の基本構想の策定、それに基づいて、何々の事業を進めるとの一文が答弁から抜けていました。

## 学校週五日制への対応

**宮城議員**　平成十四年四月から学校週五日制が始まりますが、行政当局として対応すべきことはないか。

**教育長**　週休二日制の趣旨、意義を保護者に理解してもらうこと。子供達を土曜日親元に帰し、親子のふれあいを深めると言う大きなねらいがあるので、その趣旨が活かされるよう図っていきたいと思います。

**宮城議員**　放課後の児童・子供の対応はどうなさるのか。

**村長**　委員が心配になるのは、誰もいない家庭で、独りぼっちになる子供をどう救うかと、問題をとらえています。知恵を絞って方策を求めていきたいと考えています。

**教育長**　今のところ本村には児童館が一つもなくて、行政を預かる一人として大変心配です。

**宮城議員**　現在村内の保護者は、放課後私立の児童保育所を利用しているが、緊急的な救済処置は講じられないか。

**村長**　今まで週休隔週二日制はあったわけで完全週休二日制になると、この問題は大きく拡大すると思いますが、教育委員会と連携して模索していきたいと考えています。

# 公共下水道の一部供用開始

知　念　政　光　議員

**知念議員**　いよいよ来月四月から伊集、和宇慶、南浜、北浜の一部で供用開始となります。地域への説明はいつやるのか、パンフレットとかあるいは指定工事店とか下水道本管への接続費用の対策制度はどうか。

**村長**　担当課と調整して進めたい、又その他の問題についても、地域説明会の中でどのような要望、要請があるかによって対処していきたい。

**都市計画課長**　早い時期に実施したい、広報については村広報誌、チラシ、防災無線等で行っています。指定店は三十八社、村内は数

社です。接続費用は他市町村の状況もみながら条件を考えていきたい。

## 「歴史の道」整備事業

**知念議員**　県とのヒアリング状況はどうなっているのか、宜野湾市が表示している野嵩の石畳道路の延長線にある中城側の石畳道についてはどうなっているか。

**村長**　今年十四年度の目玉事業として位置付けている。内閣府の予算でおよそ三億円余、文化庁で一億八千万円余りとなります。

## 火力発電所の誘致

**知念議員**　これから、今議会もっとも注目を浴びている問題、わたしは去年の十二月議会でも強く申し上げましたが急を要する時期で村はどう対応するか。

**村長**　電源の立地促進対策交付金とか、固定資産税収あるいはトン譲与税等も入ってくるのでこれ程魅力ある企業はないので、もちろん死にものぐるいで頑張るつもりです。

## 奥間川の整備

**知念議員**　奥間川の整備については十二月定例会で質問しているのでどうなったか、又これも同じく宇津原の防止対策はどうなっているか。

**建設課長**　奥間川の氾濫防止策として十四年度予算で、浜の十字路のカルバートボックスの改良工事を計上してある。

**経済課長**　これは議員ご指摘のように去年の十月十八日に関係機関及び地元の方々と協議をしておりそれを受け、今、南部林業事務所と協議継続中である。

# 道路改良整備事業

**與那覇　朝　徳　議員**

**與那覇議員**　大瀬線の改良整備は、平成十三年度に予備設計を実施し十四年度に採択に向け取り組みますと述べられている。又公園へのアプローチ道「歴史の道」整備事業、諸々の物と関係しているので早めに進めていきたいと答弁されたが今後の対応は。

**村長**　大瀬線の改良舗装については、採択が遅れていることは認めます。平成十五年度に採択できるように努力します。

**建設課長**　平成十四年度予定が遅れているが国土交通省以外の補助事業も視野に入れて再度取り組んでいきたい。

**與那覇議員**　新沖縄開発、中城村、登又自治会、三者で受け入れ合意条件として、一番目に大瀬線があげられている。「ウフクビリ線並に整備する」と。なぜここまで事業が着手できなかったのか、ゴルフ場を誘致した村は、覚え書きのとおり履行する責務があると考えますが。

**建設課長**　ゴルフ場計画自体がしばらく凍結されていた事情もあり、動き出したのは、二、三年前からになっている。現在ゴルフ場が予定していた区間については私どもがまだ事業化されてない箇所については、仮舗装ではあるが来月舗装までやる事になっている。

## 総合計画

**與那覇議員**　登又、新垣、北上原の一部がこれまで検討地区に指定されている、一次、二次計画期間中どの様に検討されて来たのか、又検討地区では利活用の展開が難しいのではないか、三次総合計画策定審議会でどのように総括されたのか伺いたい。

**村長**　今台地部というか、台地状にある部落については、まず南上原は大がかりな区画整理事業が進んでいるし、登又の至近距離にある中城城跡を中心とした県営中城公園整備事業が進んでいる。歴史の道整備事業が着手。ここ数年、動きが変わってきている。そういう地域開発の動向を見ながら、市街化を計画的に進めていきたいと、そういう事で検討地区に位置づけている。これからどんどん上地区の方が整備されていくと考えて頂きたい。

**企画課長**　企画整理をするにはそれなりのボリュームとかが必要ですので、今南上原に精力的に取り組んでいるので、同時に区画整理を入れるのは、厳しい状況にある。

## 学校施設整備

仲　村　春　光　議員

**仲村議員**　平成十三年度の両小学校の防衛施設周辺防音事業の完了に引き続き北上原分校の設計、施行に着手するとあるが、着手時期について伺います。

**教育長**　工事時期については、補助金交付申請が平成十四年四月予定、補助金交付決定が五月頃の予定、六月から九月に実施設計、工事着工予定が十二月から十五年三月になっている。

**仲村議員**　工事期間中の児童が学ぶ校舎はどうするのか、本校、工事同様仮校舎プレハブになるのか、本校に通わすのか。

**教育長**　只今具体的な点については、まだ検討中で、仮設校舎にするのか、本校にしばらく移動していくか検討させて頂きたい。

### 歴史の道整備事業

**仲村議員**　平成十三年度も施政方針で述べられていましたが、私も一般質問をしました。その時は調査、基本設計の予定との事でした。その後の進捗状況は、計画図面等はできているのか。

**建設課長**　平成十二年度、十三年度の繰越として、基本設計を終え、関係当局に要請したところ、世界遺産周辺整備事業として採択される事になった。国の予算も通過し、県も通過の予定で後は本会議の可決を待つだけです。図面は現在のところ、お配りしたA４の資料だけです。

**仲村議員**　資料の図だけでは、わかりにくいですが、それ以上の説明はできないのか、又地域説明会の実施予定はあるのか。

**村長**　教育委員会の文化財に関する実施計画、内閣府が行う実施計画が出来上ったら住民説明会をやる予定です。両方同時進行的になる内閣府は三年、文化庁は七年を目途に十四年度着手する予定である。

### 発電所の誘致促進

**仲村議員**　電源三法による交付金支給や地域産業の振興等財政面に大きな効果が期待できるＬＮＧ発電所誘致にどの様な取り組みを考えているのか。

**村長**　発電所の誘致については今議会で多くの議員が叱咤激励や激を飛ばして頂き、私としても大きな後ろ盾を得た思いで取り組んでいきたい。

### 分校運動場整備

**仲村議員**　北上原分校運動場整備については早急に整備して要しいと要望したが、今年度予算措置は。

**教育総務課長**　議員要望の小供達の環境学習面について検討の余地はあるが、分校の南側塀が危険状態にあるので塀を先に修繕したい。

他に大学院大学誘致の件も質問がありました。

## 道路整備

仲　松　彌　盛　議員

**仲松議員**　バイパス湾岸道路の計画は今どこまで進んでおるのか。

**村長**　村単独の要請行動と同時に、中部市町村会、中部振興会からも、要請文を、南部国道事務所や総合事務局に出しているところである。

**仲松議員**　公園線の県道整備の計画は県とどのような調整がなされておるのか。

**村長**　いすの木通りから登又の集落を通ってキイシ線につなぎ、中城公園の西駐車場につないで、ダムと城跡の間をぬって今の普天間自練のところに通して、ガンドウ線で久場まで結ぶという、この県道格上げにした案を是非実現してほしいという要請を行っておるところです。

### 環境整備

**仲松議員**　村道、潮垣線の工事がおくれておるようであるが、どのように考えておるのか。

**村長**　企業局の送水管、お互いの下水道管を埋設するその時期を見計らってやらないことには整備は永遠にできないという強いご指摘を受けておりますので、是非完成させるべく努力をして参ります。

**仲松議員**　土地改良区の津覇から和宇慶にぬける農道の未整備の個所があるがそこは、清算金等もすべて解決しておりますので、早めに手当をしていくべきだと思うが。

**経済課長**　ご指摘の場所は、これまで清算金関係で、道路機能を維持出来なかった部分だと認識をしています。問題解決が済みましたので、その部分の改修を内部でも検討をしたいと思います。

**仲松議員**　サンヒルズから新垣にぬける普天間川沿いの道路が草刈り等の整備がなされてないが。

**助役**　県の二級河川を管理するための管理道路だと思いますが、中部土木事務所あたりに、管理を十分するように要請をしていきたいと思います。

**仲松議員**　泊から久場の保全事業は終ったけれども次の跡地利用が出来ていない。そういう整合性はどう取られているのか。

**経済課長**　基本的に事業完了後の地区については今後村道として認定等を含めて、管理を集約化するよう努力をしていきたい。

## 無認可保育への支援

安　里　ヨシ子　議員

**安里議員**　公立の子供達も無認可園の子供達も公平に行政の光があたる政策を講じてほしい。無認可園への支援は。

**健康福祉課長**　無認可園は九園で三百余名、保険の助成、検便の検査料等全部で四二万円を予定。

### ゴミ処理場　青葉苑の建設

**安里議員**　都市計画決定について。都市計画計画決定の面積が〇・九ヘクタール一割以上違う都市計画違反では。

**都市計画課長**　当初の計測の誤りと二五〇〇分の一から、おおまかに面積を拾い上げたのが一・一ヘクタールになっています。

### 建築確認

**安里議員**　現在の進入路は使用しないという事で下の方からジグザグの道路をつくるという事で建築確認がおろされたそのジグザグ道路をつくるんですか。

**村長**　斜面からの道路だと十数億円がかかります。又曲りくねった道だと交差ができない現在の進入路を使わせてもらうよう地権者にお願いする。

**安里議員**　現進入路は都市計画決定されているのか。

**村長**　二三年も使用していた。当然決定されていると思い現進入路で図面を出したら、中部土木事務所から決定区域内に入ってない進入路の変更をするよう指摘を受けた。

**安里議員**　中城の景観保護条例の中に煙突の高さが規定されてない。歴史的文化的景観保護地区内変更届け書の中でも煙突の高さが記載されてないその理由は。

**村長**　意図して高さを書かなかったわけではない。既存の煙突の高さと同じという事です。

**建設課長**　煙突は工作場確認申請という事で高さは四八・六メートルです。

## 情報公開条例制度

平安山　良　成　議員

**平安山議員**　開かれた村政を実現する為にも、情報公開条例を村民に周知を図る為にも早急に実施して行く考えはあるか。

**村長**　地方分権の流れの中で住民参加の街づくりを進める上でも、情報公開制度は早めに条件を整えてスタートさせたい。

**平安山議員**　いつ頃までに計画をして、情報公開制度を実施するか。

**総務課長**　情報公開制度と一対をなす個人情報保護、これを平成十四年度の研習テーマに予定しています。時期等についてはこれから課内で詰めて、早い時期に設定したい。

**平安山議員**　全職員情報公開条例の意義と仕組みについて研習されたが、その結果について伺いたい。

**総務課長**　去る一月二十八日沖縄国際大学の前津栄健教授を講師に、午前と午後二回に分けて研習を実施しました。職員百三名が参加しております。

**平安山議員**　情報公開条例について、村長の考えを伺いたい。

**村長**　知る権利を制度的に保障すると共に、行政機関等に情報の公開を義務づけることによって、ガラス張りの行政運営を進める上でキーワードになると考えています。

### 市町村合併

**平安山議員**　村長として市町村合併問題で近隣市町村長と話し合ったことがあるか。

**村長**　九月、十二月定例議会でも合併問題が提起されたが、今日まで合併問題で話し合ったことはございません。

**平安山議員**　合併した時のメリット、デメリットについて村長はどう考えるか。

**村長**　メリットとして、公共施設や土地利用、環境や観光など広域的な地域作りが可能になる。行財政の高率化などが考えられる。デメリットとしては地域間格差が生じないか、住民の意見が反映しにくくなる。地域の特性が失われるのではないか、などのデメリットが考えられます。

**平安山議員**　今後市町村合併は避けられないと思うがどう考えているか。

**村長**　地域作りに住民参加が出来るような範囲、要するに適正な規模があるのではないかと考えています。

## 沖縄電力誘致説明会

議会からの要請で吉の浦会館於、3月16日（土）電力職員を招きL.N.G.（天然ガス）発電所建設計画について、勉強会が催された。議員、村4役及び、商工会役員等が出席して、色々な角度から質問がありました。

## 県外視察研修（山口県・大分県）

2月28日から3月2日までLNG火力発電所が運転稼動している山口県の中国電力柳井発電所と九州電力大分発電所を視察研修し、議員や村長他職員から多くの質問があり、電力職員が詳しく説明された。

## 本村議員表彰される

1．第53回全国町村議会議長会定期会において表彰（15年以上在職者）
仲松彌盛　伊佐吉元　比嘉盛安

2．第30回沖縄県町村議会議長会定期総会で表彰（11年以上在職者）
平安山良成　桃原廣一　新垣善功　比嘉善栄　新垣徳行

## 町村議会議員・事務局職員研修会

**2月14日（木）、豊見城中央公民館で、議員、事務局職員の研修会が行なわれた。**

○平成14年度、市町村予算編成と行政運営の課題について
瀬良垣馨氏　沖縄県企画開発部地域。離島振興局市町村課長。

○政局展望
岩見隆夫氏　毎日新聞特別顧問。政治担当。

## 編集後記

今回で「議会だより」も五号の発刊になりました。今回は十二月定例議会で十一名、又平成十四年三月の定例議会に於いては、十六名の議員が村民の立場から、村民の目線で一般質問が行れた。

五号は従来の議会だよりと内容が異り、一般質問中心の「議会だより」になりました。特筆したいのは、今回は前例のない大多数の議員が質問をした。議員が日常的に村行政に目を向け、村民の生活福祉向上を目指して議会活動を行っているかの、表れだと思います。

今後も議会から村民への情報提供の役割を果たして行きたいと思います。

議会だより編集員
新垣健二議員、仲村春光議員、安里ヨシ子議員
宮城重夫議員、知念政光議員、眞栄城安宗議員。